

- 問1 九州地方の長崎県は、内陸県である群馬県と比較して、小学校1校あたりの児童数が少ないという特徴があります。これは、長崎県が持つどのような地理的条件が影響していると考えられますか。適切な記述を選択してください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 多数の有人離島が存在し、それぞれの島に独立した教育環境を整備する必要があります。 | 2. 平地が少なく急峻な山岳地帯が多いため、大規模な校舎を建てることできない。 | 3. 造船業や水産業が盛んな地域では、職住近接の考えから小規模な学校が好まれる。 | 4. 他県からの転入者が多いため、将来の人口増加を見越してあらかじめ多くの学校を設置している。 |
|---|---|--|---|
- 問2 沖縄の自然環境に関するレポートにおいて、海岸沿いに生息する樹木の特徴として「潮の満ち引きの影響を受ける場所に発達し、島を波の衝撃から守る役割がある」と説明される植物群があります。この植物群が持つ生態系や防災上の特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している | 2. 落葉広葉樹の集まりであり、季節による海水の温度変化を調節している | 3. 砂漠地帯に自生する植物であり、海岸の砂の移動を防ぐ役割がある | 4. 針葉樹の集まりであり、強い潮風を受けても折れにくい性質を持っている |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 鹿児島県の農業についてまとめた資料の中で、広大な台地を利用して茶の栽培や畑作、畜産が盛んに行われている背景として説明される、この土地の成り立ちは何のようなものですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 地殻変動によって海底が押し上げられ、平らな台地となった | 2. 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した | 3. 森林を大規模に伐採し、人工的に土を盛り土して造成した | 4. 河川が長年かけて山から土砂を運び、平坦な土地を形成した |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
- 問4 熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。 | 2. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。 | 3. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。 | 4. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。 |
|---|--------------------------------------|--|------------------------------------|
- 問5 宮崎平野などの九州地方の太平洋側では、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の促成栽培が盛んです。この地域に温暖な気候をもたらしている海流の影響について、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 千島列島から南下してくる寒流である親潮の影響で、夏でも気温が上がりにくい。 | 2. 赤道付近から北上してくる暖流である黒潮の影響で、冬の気温が下がりにくい。 | 3. シベリア沿岸から南下する寒流であるリマン海流が、冬に乾燥した暖かい風を送り込むため。 | 4. 対馬海峡を抜けて日本海を流れる対馬海流が、太平洋側に熱を運んでいるため。 |
|--|---|---|---|
- 問6 九州地方に位置し、人口が約163.7万人である県の農業の特色について述べます。この県は、農業産出額が約4435億円と九州の中でも非常に高く、その内訳を見ると畜産が約2837億円と、産出額全体の半分以上を占めています。このような産業構造を持つ県はどこですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 鳥取県 | 3. 鹿児島県 | 4. 宮崎県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問7 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。 | 2. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。 | 3. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。 | 4. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。 |
|--|--|---|---|
- 問8 日本の地方別統計において、農業生産額の割合が全国の約20.7%と高く、特に宮崎平野などでビニールハウスを用いた園芸農業が盛んな地域があります。この地域で、冬でも温暖な気候を利用し、ピーマンなどの野菜の収穫・出荷時期を人工的に早める栽培方法を何といいますか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 促成栽培 | 2. 抑制栽培 | 3. 近郊農業 | 4. 高冷地農業 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問9 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため | 2. 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため | 3. 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため | 4. 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため |
|--|---|---|--|
- 問10 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（①）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（②）が流れている。これらはどちらも（③）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流 | 2. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流 | 3. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流 | 4. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流 |
|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
- 問11 九州地方の工業統計において、福岡県と大分県の製造品出荷額等が他県と比較して特に高い水準にある理由について、その産業背景を説明したものとして最も適切な記述はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 福岡県では石炭産業が現在も出荷額の柱となっており、大分県では地熱エネルギーを利用した食品加工業が県の出荷額の8割以上を占めているため。 | 2. 両県ともに、内陸部の空港周辺にシリコンアイランドと呼ばれるほどの集積回路（IC）生産工場のみを集中させ、重化学工業からの転換を完全に終えたため。 | 3. 九州地方は全体として食料品工業の割合が極めて高く、特に福岡県と大分県においては出荷額のほとんどが農産物の加工品によって構成されているため。 | 4. 福岡県では北九州工業地域を中心に鉄鋼や自動車などの重化学工業が集積し、大分県では新産業都市の指定を経て鉄鋼・石油化学コンビナートが形成されたため。 |
|--|---|--|--|
- 問12 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 平野部が広大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。 | 2. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。 | 3. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早い。 | 4. 火山灰が積み重なってきたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に向きであったため。 |
|--|---|--|--|